

研究タイトル:

## 四技能をバランスよく伸ばす英語学習法



氏名: 久保田 佳克 / KUBOTA Yoshikatsu E-mail: kubota@sendai-nct.ac.jp

職名: 教授 学位: 修士(教育学)

所属学会・協会: 全国英語教育学会, 全国高等専門学校英語教育学会

研究分野: 英語教育, 第二言語習得

キーワード: 英語多読, 音読筆写, アクティブラーニング, パラグラフライティング, 語彙習得

技術相談  
提供可能技術:  
・英語多読の方法  
・効果的な英語学習法  
・TOEIC 受験に向けた学習法

### 研究内容:

#### 研究課題

- 英語多読を中心とした英語学習
- 音読筆写を中心とした英語学習
- アクティブラーニングを中心とした英語の授業

#### 研究シーズ

##### ○研究の背景

言語習得の自然な流れは、聞く・話す・読む・書くの順とされている。経済のグローバル化に対応するために、日本の英語教育も従来の「読む・書く」の重視から「聞く・話す・読む・書く」の四技能のバランスが取れたものへ大きく変化する時期を迎えている。

##### ●英語多読を中心とした英語学習

従来、学校の英語教育では「正確に読む」ことが重視され、訳読を中心とした「精読」が行われてきた。しかし、現在では、英語を楽しみながら、たくさん読んで、読みの流暢さを伸ばす「多読」を取り入れた授業が多くの高専や大学で行われている。仙台高専広瀬キャンパス図書館には約3,000冊の多読用図書が備えられており、これらの図書を利用した英語多読を通し、英語の力を伸ばす方法を研究している。

##### ●音読筆写を中心とした英語学習

英語の学習法としての音読や筆写は、英語達人とされる先人たちも行ってきた学習法である。一方で、学校の英語教育ではこれらの活動を行ってはいないもの、英語達人たちの行った時間数には遠く及ばず、その効果もあまりあがっていない。授業でこうした活動を取り入れながら、効果的な音読の仕方や回数、筆写のタイミングなどについて研究している。

##### ●アクティブラーニングを中心とした英語の授業

近年、生徒・学生と教員のインタラクションを中心としたアクティブラーニングが学校教育に取り入れられている。英語はコミュニケーションの道具であり、アクティブラーニングは英語の四技能をバランスよく伸ばすためには効果的な授業の方法である。英語でのやり取りや発表でスピーキング力を伸ばし、さらにパラグラフライティングを取り入れることで、効果的な情報伝達の方法を学ぶような授業を行っている。

### 提供可能な設備・機器:

#### 名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	